



横浜明朋高校野球部

2018年春季神奈川県大会地区予選に出場しました！

3月24日、3月25日、3月27日に行われた春季神奈川県大会地区予選に出場しました。本大会、本校は部員数不足のため横浜緑園高校と合同チームを結成し登録選手9名で大会に出場いたしました。

南横浜地区Iブロック 横浜隼人高校グラウンド

3月24日(土)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
横浜緑園・横浜明朋	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
横浜栄	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	

※大会規定により没収試合 公式記録は9-0で横浜栄高校の勝ち

1回表の攻撃、先頭打者がヒットで出塁、送りバントでランナーを進めたあと、4番5番の連打で幸先よく先制点をあげます。守っては投手が好投、2回には三者三振を奪うなど、4回までノーヒットのピッチングで横浜栄高校の打線を封じます。

しかし5回裏の守備、二死から四球で走者を許すと、牽制後のランダウンプレーで悪送球、更に続く打者の内野ゴロでエラーが出てしまい同点に追いつかれます。8回表の攻撃では、1番2番打者が連打で出塁、1死2・3塁の絶好のチャンスを迎えます。しかし、相手投手の丁寧に制球されたスライダーに対応できず、3番、4番が内野ゴロに打ち取られ得点できません。

対する 9 回裏の守備、連続四死球と暴投で 1 死 2・3 塁のサヨナラの大ピンチを招いてしまいます。ここで次の 9 番打者を四球で敬遠、満塁策をとり 1 番打者との勝負を選択します。結果は投手ゴロの本塁ダブルプレーで見事にピンチを切り抜け延長戦に突入します。

その後も一進一退の攻防が続き迎えた延長 1 1 回裏の守備、先頭打者のレフトへの飛球で目測を誤り 2 塁打を許し再びサヨナラのピンチを招きます。ここで次打者の送りバントが小フライとなったため、投手と捕手が互いに捕球体勢に入り衝突してしまいます。このプレーで捕手が負傷してしまいます。残念ながら選手の怪我の状態が悪くプレー続行は難しいと判断しますが、本チームは選手交代ができないためこの時点で無念の棄権となりました。

今回このような残念な形で大会を終えることになりましたが、横浜緑園高校の選手とともに冬を越え、大会で大接戦を繰り広げることができたことで自信を深めるとともに、チームワークの大切さを知り仲間との絆を深めることができたと思います。

応援いただいた関係者の皆様、ありがとうございました！。また人数が少ない本合同チームのために、ボールボーイやノックの手伝いなど様々な面で支援を頂きました横浜隼人高校の野球部の皆さんにお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

